

朝倉 介護保険 事業者協議会 会報



朝倉介護保険事業者協議会 10周年

甘木朝倉管内の介護サービスの質の向上を目的に、平成12年8月に設立された当協議会が10周年を迎え、その記念式典が朝倉市のサンライズ柘木・大ホールにて開催された。

朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol. 35 平成23年3月31日発行



式典の開催に当たり、吉本を代表する夫婦漫才コンビで現もテレビや舞台等で華々しい活躍をされている宮川大助・花子の宮川花子さんをゲストに特別記念講演が行われた。「花子の生き生きライフ」と題して、結婚30周年を迎えた夫婦生活や、晩年ご主人の大助さんが突然の脳内出血に倒れた際の看病経験のエピソード等を交え、そうした苦難の中で“明るく元気に生きる”花子流のライフスタイルが語られ、会場は笑いと涙にあふれる90分となった。

ご自身も胃ガンを乗り越えた経験のある花子さんは、その痛みや苦しみの過去を胸に、後遺症でリハビリに励む大助さんを支えながら、時には一人で舞台上に立つこともあり、その強い夫婦愛と笑顔に満ちた家庭生活、そして漫才という仕事への誇りを感じさせる今回の講演は、介護従事者をはじめ、在宅介護者を抱えるご家族の方にとっても、心から勇気づけられる大変意義深いものとなった。



十周年記念誌を発刊しました。

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://www.asakura.in>

朝倉介護

検索

事業報告 I

10周年記念式典・祝賀会



朝倉管内の市町村長様を代表して、筑前町長・田頭様からは、行政と当協議会との連携を密にし、今後とも相互関係を深めながら協働できる関係を作っていきましょうとのメッセージを頂戴しました。

特別記念講演でいよいよ宮川花子さんがご登壇かと思いきや娘さんで漫才コンビ「さゆみひかり」でご活躍中の宮川さゆみさんが登場。突然のサプライズに会場が沸き起りました。



式典終了後は、松屋ガーデンパレスに会場を移し、関係者による祝賀会が開催され、10年という大きな節目を迎え、今後の地域福祉・介護の向上のために、真摯に取り組むべく決意が新たにされました。

会場に設置されたスクリーンでは協議会の10年の軌跡が写真入りで紹介され、当時の出来事を振り返る参加者の思いのこもった声場が場内に響き、これから始まる新しい10年に向け、より一層充実した介護サービスを考える貴重なひとときとなりました。



事業報告 I

笑顔の写真コンテスト

祝賀会では、昨年からの募集を行っていた「笑顔の写真コンテスト」について、日々の看護・介護を通じて出逢った、ふとした瞬間の笑顔、そして人生最高の笑顔をとらえた各事業所スタッフによる作品の表彰が行われたほか、スクリーンでは、応募された全作品のDVD上映も行われ、会場は感動の拍手に包まれました。

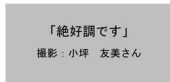
なお、コンテスト入賞作品は以下の通り。



最優秀賞「野菜作り」 撮影：吉村奈緒さん



「クリスマス会にて」
撮影：大内田 敦さん



「絶対調です」
撮影：小坪 友美さん



優秀賞「どっちが可愛いかな」 撮影：床嶋梅香さん



「祝ってくれてありがとう」
撮影：田中 正一さん



優秀賞「合同誕生会にて」 撮影：堀田愛花さん



「ピース」
撮影：柳瀬 慶美さん



「家族会にて」
撮影：佐藤 裕さん

その他、多数のご応募誠にありがとうございました！

事業報告Ⅱ 部会活動報告

通所リハビリ部会



介護老人保健施設 城山荘 床嶋 梅香

通所リハビリ部会は、今年度2事業所の新規入会があり全10事業所の参加で開催しています。定例会を年3回と通所介護・通所リハビリ合同部会を年1回で開催しています。各事業所から、困難事例等を出しあって情報交換を活発に行ってきました。新規の入会で、今まで以上に通所リハビリ部会が活性化されることを期待しております。各通所リハビリの特性を生かし、利用者様のニーズに応じていけるよう、事業所間で連携をとり質の良いサービスを提供していきたいと思っております。



通所介護部会

あまぎ健康らんどデイサービスセンター 平山忠宣

通所介護部会は今年度は1事業所が新規加入し、2事業所が退会して現在19事業所が参加しています。年間3回の部会と1回の通所リハビリ部会との合同部会を開催しております。部会を通じて情報交換やスキルアップ、事例紹介等を行っております。それをきっかけに各事業所が今まで以上に向上していき、地域に根付いたデイサービスとして朝倉地区の高齢者の方々に浸透していき、質の高いサービスを提供できるようにしたいと考えております。



Hobby Box

～ 3 B体操倶楽部 ～

介護老人保健施設 テイクアセンターうらうめ 村上 喜美子さん

私たちが、3 B体操倶楽部を昨年9月に発足するきっかけになったのは、職場の研修会「3 B体操（腰痛防止もかねて）」で、3 B体操の宮崎先生からご指導して頂く機会に恵まれたからでした。

日頃体を動かし仕事をしている私たちにとっては、3 B体操を行うことなど簡単なことと考えていました。ところが・・・あちこちから、悲鳴とも言えるような声が飛び交い始めたのです。そして翌日は、明らかにいつもの体の動きとは違っていました。体中がこわっていたのです。体は痛い、何か気持ち良かったとの声！！・・・声！！それからです。先生にお願いして、週1回業務終了後指導して頂くことになりました。

現在会員10名で、毎週木曜日1時間程度行っています。

3 B体操は、3つの「B」ボール、ベル、ベルターを使った体操のことです。日頃動かさない体の部分まで伸ばしたり、ヒット曲に合わせて踊ったりと充実した1時間を過ごしています。やはり最初の目的は、スマートな体型になることでした。すぐに結果を求める私たちは、1、2ヶ月後には先生みたいなスマートな体型になっていることを、みんな頭に描いていたのです。なんと浅はかな考えでしょう。スマートな体型になった人などひとりもいません。先生は、時には浅はかな私たちの考えに喝を入れたり、最初はどうなることかと案じていた私たちの体の硬さが、目に見えて変化してくると、時には褒めて頂きながら、みんないい汗を流しています。

スマートな体型になりたいという目的が1番ですが、冷え症が軽減されたり、腰痛が緩和されたりと、日々の変化を体感しています。仕事と家事に忙しい毎日を過ごしている私たちにとっては、この1時間は自分磨きとリフレッシュできる貴重な時間だと思います。老化が進んでいく私たちの体にストップをかけ、いつまでも元気がつらつ生活していけたらと思います。そして第1目標「スマートな体型」も必ず手に入れたいと願っています！



My Way

グループホーム和笑 竹島 久美子さん

今回の紹介者は「デイケアセンターうらうめ 高瀬 照美」さんです。

和笑の竹島久美子さんを紹介させていただきます。実は、竹島さんとは25年以上前に一緒に職場で働いたことがあり、3年前から2年間、参加させて頂いた研修部会等で再び一緒に、右も左もわからず不安だった私が顔見知りの竹島さんを見て緊張が和らいだのを思い出します。

竹島さんは、笑顔が素敵で誠実な方です。又、勉強熱心な方で通所介護・通所リハビリ合同でレクの特技の勉強会をした時は是非、グループホーム部会も参加したいと3部会合同でおこないました。お話をすると私ももっと勉強しなくてはと意欲やエネルギーをもらえる方です。これからも、お体に気をつけられて、ご活躍下さい。



次回は竹島 久美子さんからのご紹介で グループホームすずらんの 飯田たまえ さんです！

介護スタッフリレーコラム

「生き活きと・・・リハビリテーション」 朝倉健生病院 作業療法士 永露真由美

「ウギャー」「痛～～」そう叫びながら涙を流し汗だくになり匍匐前進で逃げ回ってリハビリテーションを受けたのは高校2年生の夏でした。バイク事故で膝靭帯を損傷し、手術・リハビリテーションを受けました。部活動に復帰したくて毎日リハビリテーションに通い、担当して下さった理学療法士もそれに答えるため、あの手に私の足の機能回復を考えて下さいました。ついに正座が出来たとき「ヤッター」私はそんな感動を覚えしました。あの時初めてリハビリテーションの仕事に興味を持ち、「人に喜びと感動を与える仕事だな」と感じました。

当時は理学療法士を目指し様々な学校や病院の体験・見学を行いました。その時ある学校で、作業療法士とは「身体（からだ）の機能だけでなく、作業活動を通じて心身機能（体だけでなく心も）を回復させ、それによって生活の向上をお手伝いする仕事、作業療法士は深く・広く人のお手伝いをする仕事です」と説明を受けました。その話から作業療法士に憧れ、現在私は作業療法士として病院の在宅分野で仕事をさせて頂いております。人の心と体、その人らしい生活を日々想い、いかに利用者様が自宅で、笑顔で過ごせるか、いかに安全に不自由なく生活が送れるかを日々考えています。

私がリハビリテーションと出会って10数年、あの時私が感じた喜びや感動を、多くの方に感じて頂き、生き活きとした生活を送っていただけますよう、日々努力しています。これからも作業療法士や在宅リハビリテーションを多くの方々に知ってもらい、沢山の笑顔に接していけますよう精進していきたいと思っております。

徒然日記

ケアプランサービスいしずえ荘 K・H

～ これから・・・～

この福祉業界に入り、もうすぐで10年目を迎えます。

現在、介護支援専門員として従事しておりますが、たくさんの方の利用者、ご家族と接し人生勉強をさせて頂いております。この9年いろんな壁にぶつかってきましたがなんとかここまでやってきたかなと感じております。

先日、テレビで「筆談ホステスの斉藤里恵」さんが出ておられました。斉藤さんは、1歳の時に聴力を失いながらも、銀座のホステスNo.1にのぼりつめられました。

彼女は筆談でのお客様のやりとりが「会話以上に元気をくれる」と話題になり、著書まで発行されております。彼女の筆談の一つを

紹介します。

“難題のない人生は、難題な人生。難題の有る人生は、有難い人生” 仕事をすなわで、たくさんの方の困難事例にぶつかります。

自ら難題をつくってしまっただけではありませんが、ぶつかった時は、難題ばかりだと苦しむよりも、それを解決していく意義を見つけ出していくことが、人間として成長できることなんだと感じました。家庭生活においても同じです。

30代に突入。これからも、この仕事をしなくてよかったと思える人生にしていきたいです。

編集後記



この度は、平成22年3月11日（金）、東北地方太平洋沖地震で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。現在も、東日本の広範囲にわたって食糧をはじめとする物資やガソリン、電力等が不足する状況にあり、国内外から多数の支援の手が広がっています。中には明日の生活にも困っている方々まで義援金を集めて下さっているとか。本当に、国や人種の違いを超えた“人”の心が伝わってきます。それに対する感謝の気持ちを胸に、被災地の日も早い復興に向けて、出来るだけのことをやっていきたいと思っております。

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田2311
特定非営利活動法人 武光福祉会
TEL (0946) 22-9743 FAX (0946) 22-5465

編集 / 発行所

朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒8380-0228 福岡県朝倉郡筑前町242-17
(有) 映楽 介護用品ハーテック
TEL (092) 926-8109 FAX (092) 926-8109
印刷 / 井上総合印刷株式会社